

Google検索における表示順位向上についての研究

東京都立戸山高等学校 SS情報 1年 中村龍人

研究の背景と動機

ホームページを公開する際にはSEO対策と呼ばれる、公開したサイトを検索結果で上位に表示させるための対策を行うのが一般的だ。具体的に決まった方法があるわけではなく、ホームページの品質を高めていくことで、順位上昇を図る。

具体的にどんな対策が効果的なのか、実際にホームページを公開して実験し、最適な方法を見つけようと思った。

実験

1/2 ホームページ公開

2021年10月にホームページ(<https://nectere.jp>)を公開した。公開から一週間後における、平均表示順位は17.6位だった。

※検索キーワードは公開したホームページの団体名である「nectere」とした。

また、検索順位の測定には、Google Search Consoleを用いた。

2/2 読み込み速度の向上

ホームページの読み込み速度の向上を図った。

(a) 軽量の画像ファイルの使用

画像ファイルの大きさを適切になるように調整した。また、「WebP」というよりデータサイズを小さくできる形式を採用した。

(b) ホームページの一部の遅延読み込み

ホームページの下部で読み込んでいたTwitterの読み込み速度に時間がかかり、ページ全体に影響していた。

そこで、Twitterを「ユーザーが初めてスクロールを始めたタイミング」で読み込むように変更した。

こうすることで、画面上部の、ユーザーが最初に見る部分を優先的に読み込むことができる。

結果

「Page Speed Insights」を用いて計測した読み込み速度は次のように変化した。

	モバイル	パソコン
公開後すぐ	42	77
(a)の処理後	56	99
(a)+(b)の処理後	92	100

2021/11/30時点で平均表示順位は6.4となった。また、実際に検索すると2番目に表示された。

さらに、追加で2ヶ月ほど放置したところ、2022年1月28日時点で、平均掲載順位は4.7に向上した。

考察

実験の結果から、読み込み速度の向上は、表示順位を大幅に上げる効果があることがわかった。

また、行った処置の結果が出るには、一定の期間(最低でも3ヶ月程度)がかかると考えられる。

今後の展望

現在、対象の検索ワードで1位となっている同名のTwitterアカウントに勝つことを目標に、引き続き実験を進める。

また、当初計画していた、「WordPress」を用いたwebサイトの準備を進めているので、できるだけ早く公開して、現在のサイトとの比較実験を行いたい。

参考文献

『Digital Marketing Blog』

<https://digitalidentity.co.jp/blog/creative/webp.html>

『Page Speed Insights』

<https://developers.google.com/speed/pagespeed/insights>